

(5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

1) 動物

ア. 重要な種及び注目すべき生息地の状況

7) 野生動植物保護地区の分布

「野生動植物保護地区内訳表」（環境省）によると、神奈川県内には自然環境保全地域の野生動植物保護地区に指定されている地域はない。

4) 鳥獣保護区の分布

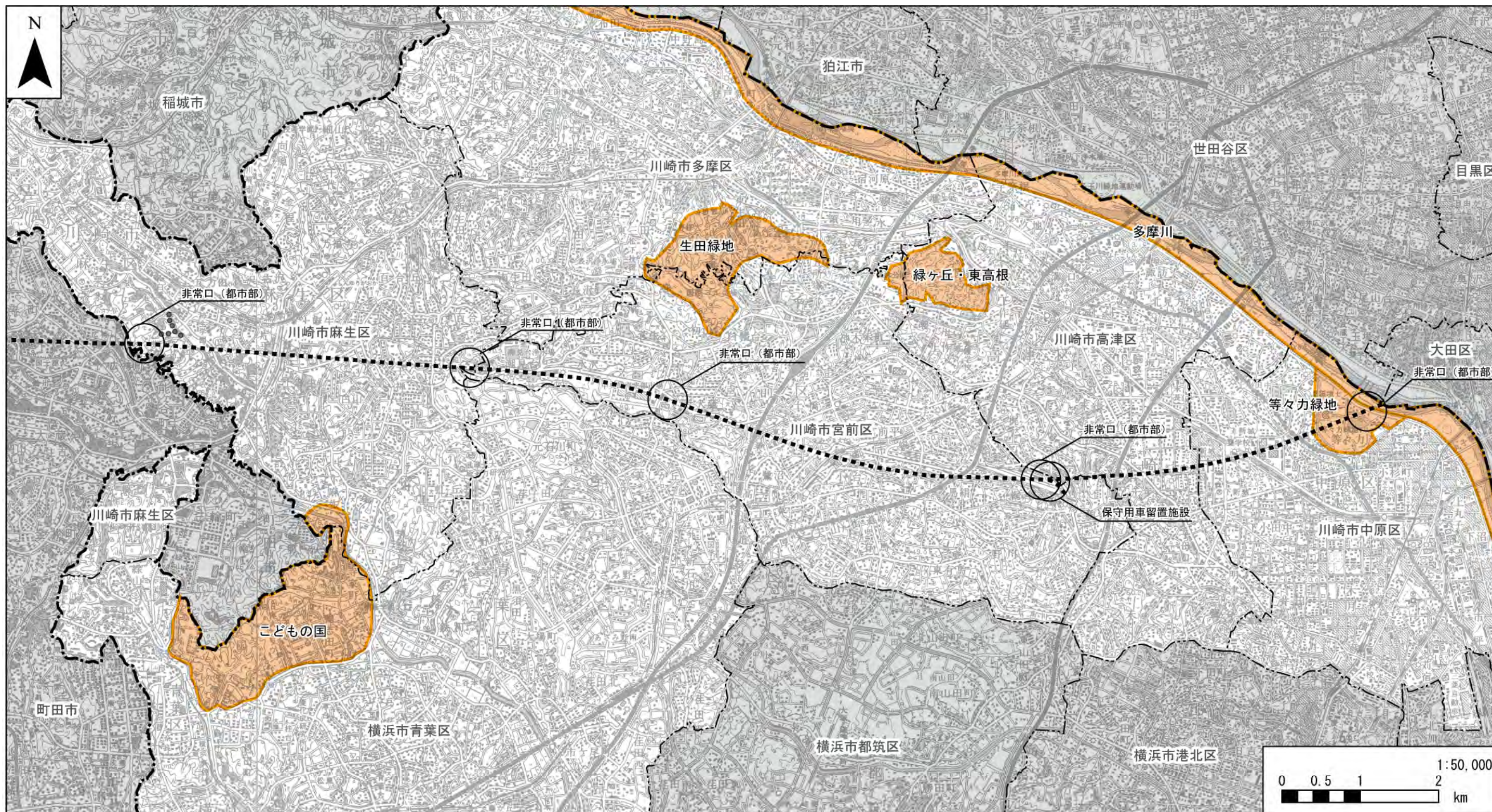
神奈川県内では、101 箇所の鳥獣保護区が指定されている。この内、対象事業実施区域及びその周囲では、図 4-2-1-16 及び表 4-2-1-77 に示す 18 箇所が指定されている。

なお、対象事業実施区域及びその周囲では、特別保護地区は「宮ヶ瀬湖」の 1 箇所である。

表 4-2-1-77 対象事業実施区域及びその周囲の鳥獣保護区一覧

名称	設定所在地	設定面積 (ha)	特別保護地区 面積 (ha)	期間終了年月日
仏果山	愛甲郡清川村の一部	963.6	—	平成 25 年 10 月 31 日
こどもの国	横浜市緑区、川崎市麻生区の各一部	315	—	平成 26 年 10 月 31 日
小倉山	相模原市緑区の小倉山国有林及び志田山国有林一円	381	—	平成 25 年 10 月 31 日
仙洞寺	相模原市緑区仙洞寺国有林	99	—	平成 25 年 10 月 31 日
谷山	相模原市緑区谷山国有林	88	—	平成 25 年 10 月 31 日
津久井	相模原市の一部	2,100	29	平成 33 年 10 月 31 日
茨菰山	相模原市緑区の茨菰山国有林	87	—	平成 25 年 10 月 31 日
名倉	相模原市緑区名倉	450	—	平成 25 年 10 月 31 日
生田緑地	川崎市生田緑地	175	—	平成 26 年 10 月 31 日
多摩川	川崎市多摩区、高津区、中原区、幸区、川崎区内の各一部	703	—	平成 28 年 10 月 31 日
緑ヶ丘・東高根	川崎市高津区及び宮前区の一部	67	—	平成 30 年 10 月 31 日
等々力緑地	川崎市中原区の一部	56	—	平成 31 年 10 月 31 日
檜原	県立愛川ふれあいの村	17.2	—	平成 32 年 10 月 31 日
道保川公園	相模原市の一部	50.2	—	平成 27 年 10 月 31 日
相模川・八瀬川沿い緑地	相模原市の一部	52.5	—	平成 30 年 10 月 31 日
あいかわ公園	愛甲郡愛川町の一部	89.2	—	平成 34 年 10 月 31 日
宮ヶ瀬湖	宮ヶ瀬湖及びその周辺	700	70	平成 34 年 10 月 31 日
松茸山	相模原市緑区の一部	132.3	—	平成 34 年 10 月 31 日

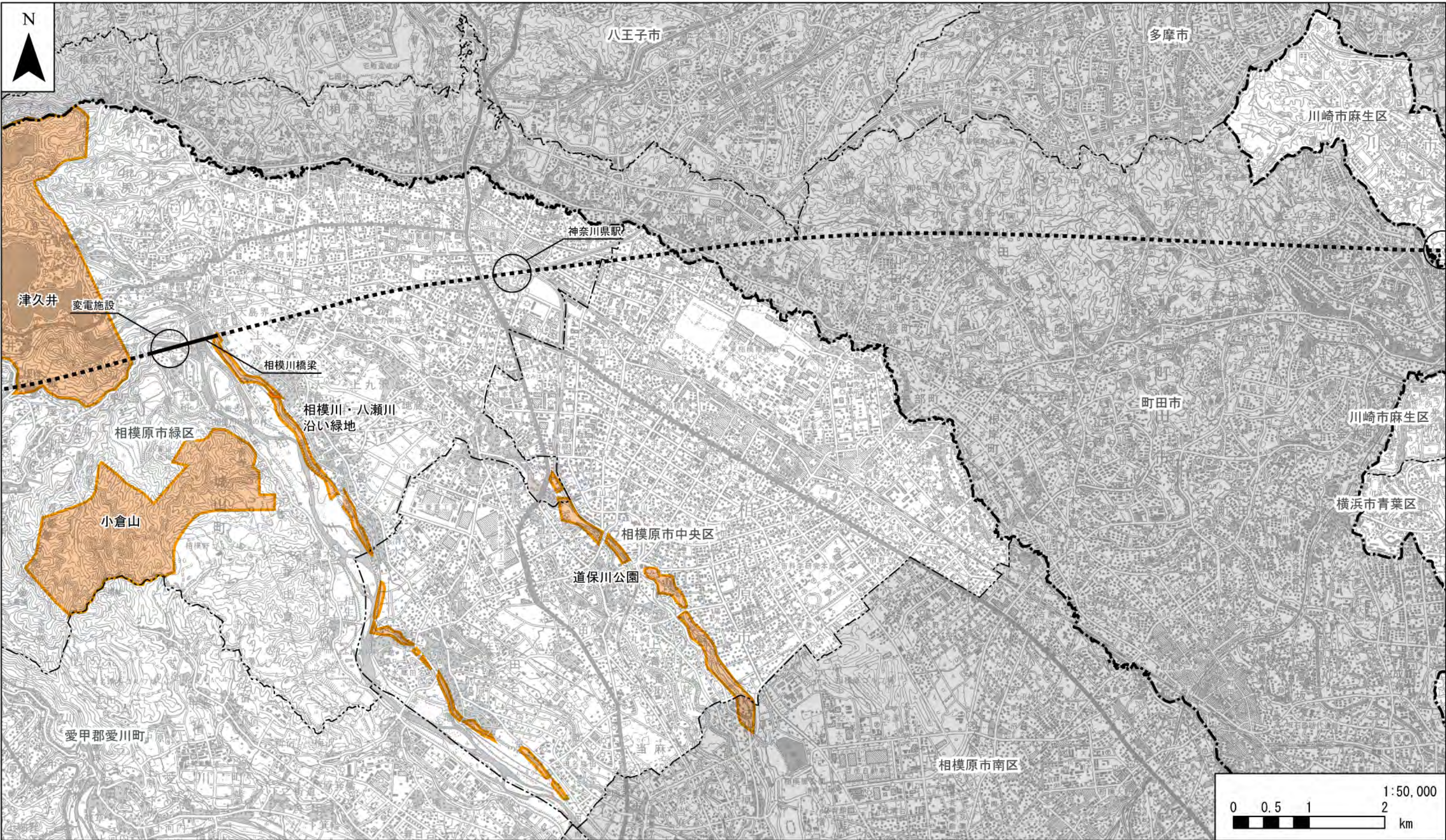
資料：「平成 24 年度 神奈川県鳥獣保護区等位置図」（平成 24 年 10 月、神奈川県）



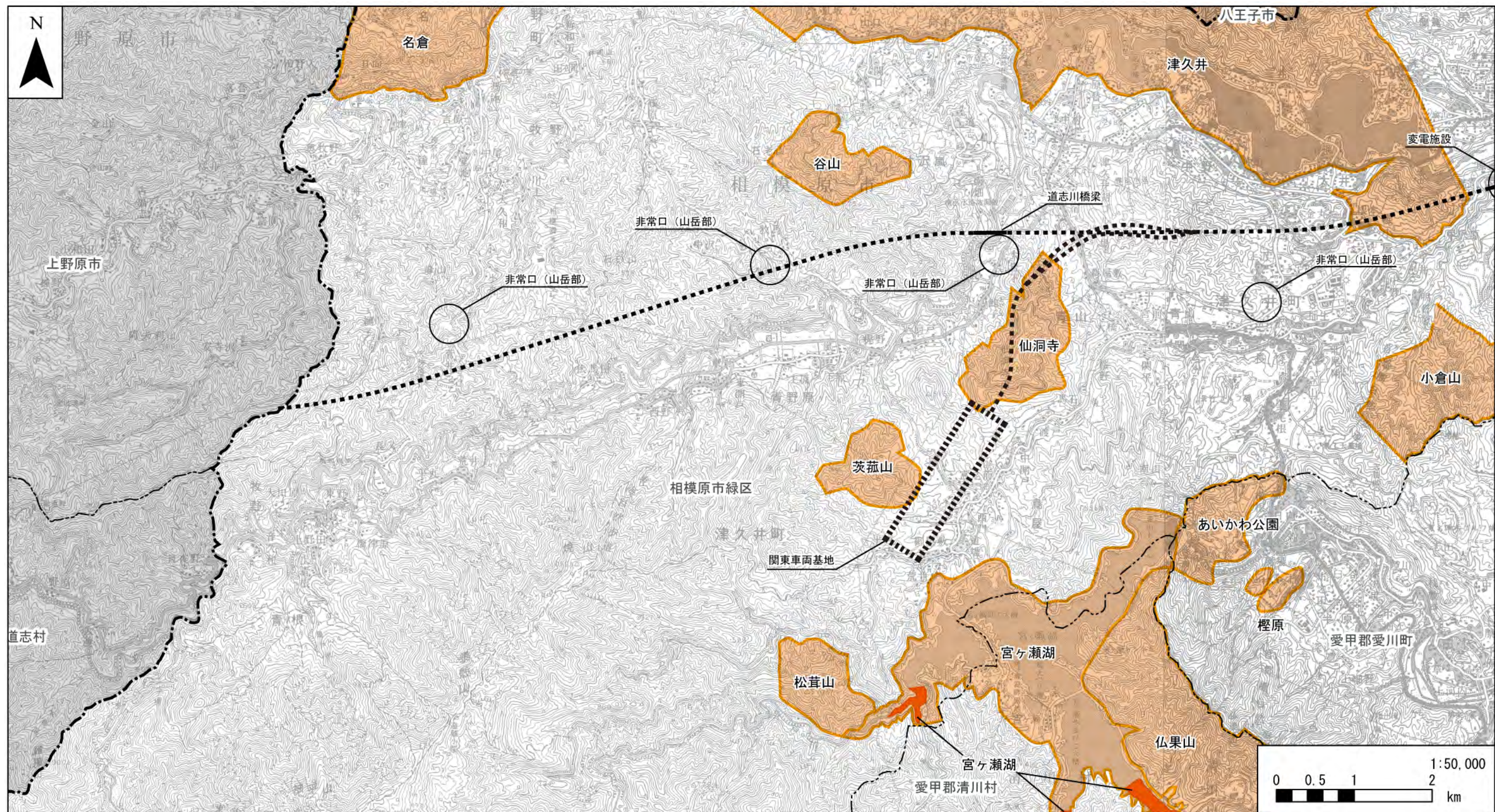
- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市区町村境
 - 鳥獣保護区
 - 鳥獣保護区特別保護地区

資料：「平成24年度 神奈川県鳥獣保護区等位置図」（平成24年、神奈川県）

図4-2-1-16(1) 鳥獣保護区の指定状況図



4-2-1-129



凡例

- 計画路線(トンネル部)

- ### — 計畫路線(地上部)

- 都県境

- 市区町村境

- ・ 関東車両基地は地上部で計画

-  鳥獸保護区

- 鳥獸保護区特別保護地区

資料：「平成24年度 神奈川県鳥獣保護区等位置図」（平成24年、神奈川県）

図4-2-1-16(3) 鳥獣保護区の指定状況図

り) 重要な動物及び天然記念物としての動物の生息状況、生息環境

対象事業実施区域及びその周囲の哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類及び魚類の生息状況を、以下に示す。

(哺乳類)

「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)によると、神奈川県内では、哺乳類の分布調査対象種とされた9種の中大型哺乳類(ニホンザル、タヌキ、アナグマ、ツキノワグマ、ヒグマ、キツネ、イノシシ、ニホンジカ、カモシカ)の内、ヒグマを除く8種が確認されている。

この内、対象事業実施区域を含むメッシュ⁽⁵⁾で生息情報が確認された哺乳類は、図4-2-1-17及び表4-2-1-78に示すとおりであり、カモシカが文化財保護法に基づく特別天然記念物、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年、神奈川県立生命の星・地球博物館)(以下、「県レッド」という。)に基づく準絶滅危惧に指定されているほか、ツキノワグマが県レッドで絶滅危惧Ⅰ類、キツネが県レッドで準絶滅危惧に指定されている。

表 4-2-1-78 対象事業実施区域を含むメッシュで生息情報が確認された哺乳類

目名	科名	種名	選定基準			
			①	②	③	④
サル目	オナガザル科	ニホンザル				
ネコ目	イヌ科	タヌキ				
		キツネ				準絶滅危惧
	イタチ科	アナグマ				
	クマ科	ツキノワグマ				絶滅危惧Ⅰ類
ウシ目	イノシシ科	イノシシ				
	シカ科	ニホンジカ				
	ウシ科	ニホンカモシカ	特天			準絶滅危惧
3 目	7 科	8 種	1 種	0 種	0 種	3 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

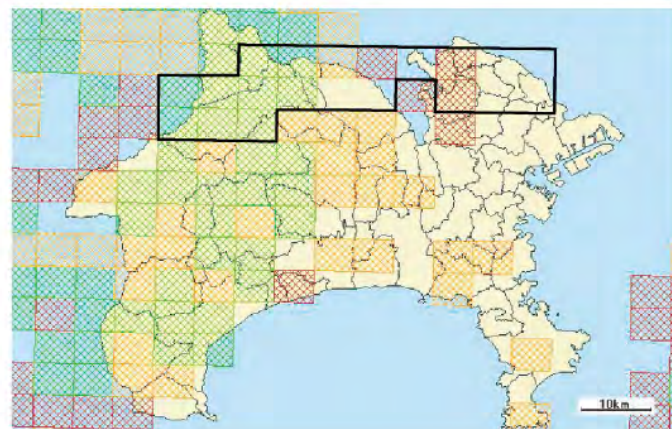
- ①「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」(平成24年、環境省)
「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」(平成25年、環境省)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：要注目種
- ④「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年、神奈川県立生命の星・地球博物館)
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧Ⅰ類、絶滅危惧ⅠA類、絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、減少種、希少種、要注意種、注目種、情報不足、情報不足A、情報不足B、不明種、絶滅のおそれのある地域個体群

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

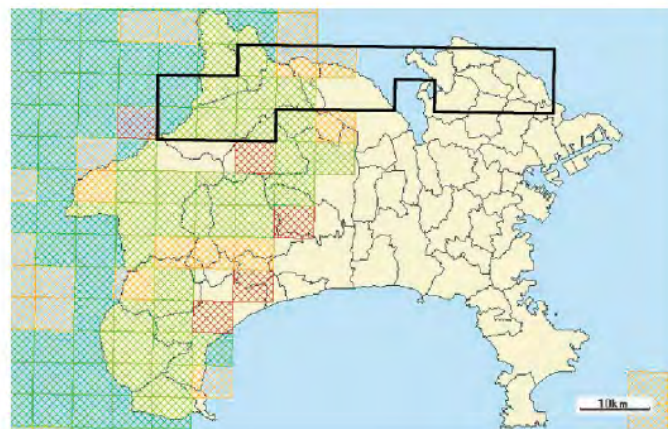
資料：「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)」(平成16年、環境省)

⁽⁵⁾「対象事業実施区域を含むメッシュ」：対象事業実施区域及びその周囲に位置するメッシュデータとし、地域特性の調査対象範囲は方法書と同様とした。

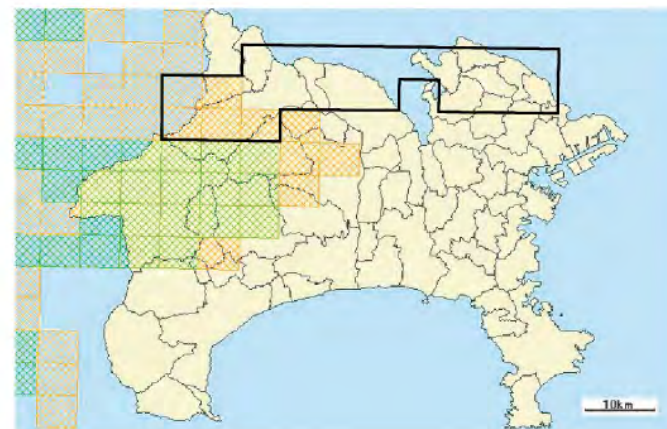
アナグマ



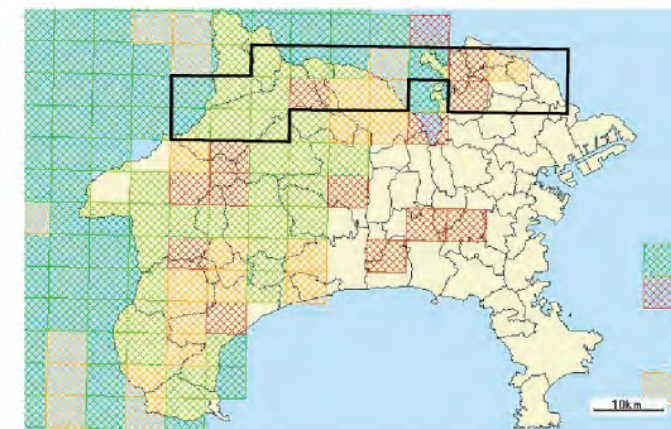
イノシシ



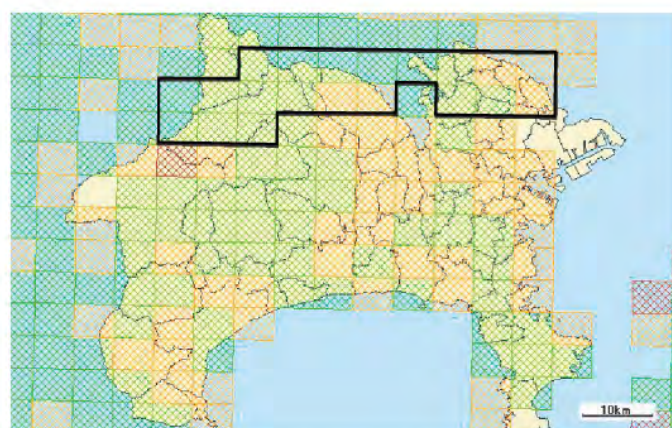
カモシカ



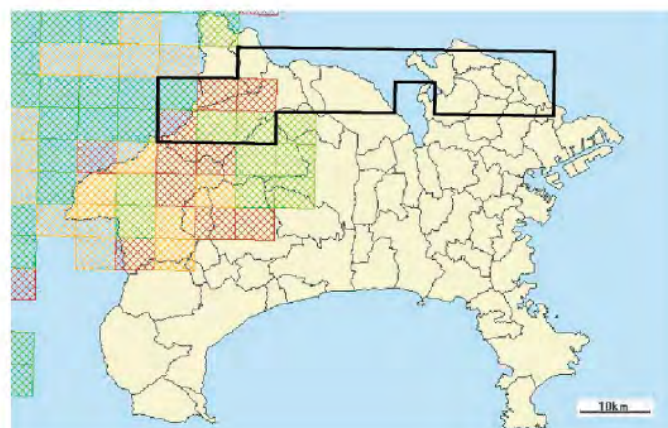
キツネ



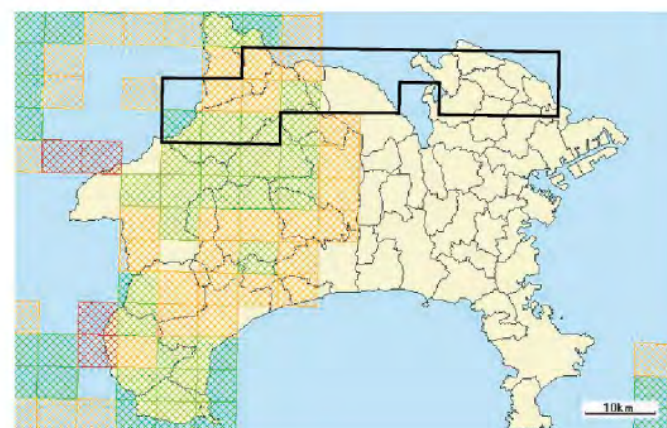
タヌキ



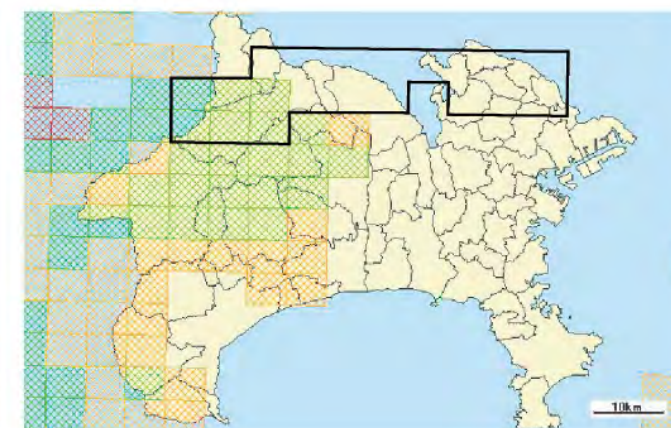
ツキノワグマ



ニホンザル



ニホンジカ



凡例

-  第2回調査のみ確認
-  第6回調査のみ確認
-  第2回と第6回の両方で確認
-  対象事業実施区域を含むメッシュ

資料：「第6回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査（種の多様性調査）」
（平成16年、環境省）

図4-2-1-17 主な哺乳類の分布図

(鳥類)

「日本産鳥類の繁殖分布（第2回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査） 動物分布調査（鳥類）報告書）」（昭和56年3月、環境庁）に掲載された種の内、対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された種を、表4-2-1-79に示す。

これによると、文化財保護法に基づく天然記念物等及び種の保存法に基づく希少野生動物種の選定はなく、「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）（以下、「環境省レッド」という。）では、絶滅危惧IB類にブッポウソウの1種、絶滅危惧II類にミゾゴイ、タマシギ等の4種、準絶滅危惧にヨシゴイ、ハイタカ等の4種が選定されている。また県レッドでは、絶滅危惧I類に6種、絶滅危惧II類に15種、準絶滅危惧に5種、減少種に12種、希少種に1種、注目種に2種、情報不足に1種がそれぞれ選定されている。

表 4-2-1-79(1) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						繁殖期	非繁殖期
キジ目	キジ科	ヤマドリ				絶滅危惧II類	絶滅危惧II類
		キジ					
カモ目	カモ科	カルガモ					
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ					
ハト目	ハト科	キジバト					
		アオバト				注目種	注目種
ペリカン目	サギ科	ヨシゴイ			NT	絶滅危惧II類	
		ミゾゴイ			VU	絶滅危惧I類	
		ササゴイ				絶滅危惧II類	
ツル目	クイナ科	ヒクイナ			NT	絶滅危惧I類	
		バン					
カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス					
		ツツドリ					
		カッコウ				絶滅危惧II類	
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			NT	絶滅危惧II類	
アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ				減少種	
チドリ目	チドリ科	イカルチドリ				準絶滅危惧	注目種
		コチドリ				注目種	
	シギ科	イソシギ				希少種	注目種
	タマシギ科	タマシギ			VU	絶滅危惧I類	希少種
タカ目	タカ科	トビ					
		ツミ				絶滅危惧II類	希少種
		ハイタカ			NT	情報不足	希少種
		サシバ			VU	絶滅危惧I類	
		ノスリ				絶滅危惧II類	希少種
フクロウ目	フクロウ科	アオバズク				絶滅危惧II類	
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン				絶滅危惧II類	
		カワセミ					
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ			EN	絶滅危惧I類	
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ					
		アカゲラ					
		アオゲラ					
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	絶滅危惧II類	
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ				絶滅危惧II類	
	モズ科	モズ				減少種	

表 4-2-1-79(2) 対象事業実施区域を含むメッシュで繁殖情報が確認された鳥類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	
						繁殖期	非繁殖期
スズメ目	カラス科	カケス					
		オナガ					
		ハシボソガラス					
		ハシブトガラス					
	シジュウカラ科	コガラ				絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧
		ヤマガラ					
		ヒガラ					
		シジュウカラ					
	ヒバリ科	ヒバリ				減少種	
	ツバメ科	ツバメ				減少種	
		イワツバメ					
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ					
	ウグイス科	ヤブサメ				準絶滅危惧	
		ウグイス					
	エナガ科	エナガ					
	ムシクイ科	メボソムシクイ				絶滅危惧Ⅱ類	
		センダイムシクイ				準絶滅危惧	
	メジロ科	メジロ					
	ヨシキリ科	オオヨシキリ				絶滅危惧Ⅱ類	
	セッカ科	セッカ				減少種	減少種
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ				準絶滅危惧	
	ムクドリ科	ムクドリ					
	カワガラス科	カワガラス				減少種	減少種
		トラツグミ				減少種	
		クロツグミ				絶滅危惧Ⅱ類	
		アカハラ				減少種	
		コサメビタキ				絶滅危惧Ⅰ類	
		キビタキ				減少種	
	オオルリ	オオルリ				準絶滅危惧	
		スズメ					
	セキレイ科	キセキレイ				減少種	
		ハクセキレイ					
		セグロセキレイ				減少種	
	アトリ科	カワラヒワ				減少種	
		イカル					
	ホオジロ科	ホオジロ					
キジ目	キジ科	コジュケイ(外)					
ハト目	ハト科	ドバト(外)					
スズメ目	カエデチョウ科	ベニスズメ(外)					
14 目	36 科	71 種	0 種	0 種	9 種	42 種	11 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ①「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年、法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」(平成24年、環境省)
「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」(平成25年、環境省)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：要注目種
- ④「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年、神奈川県立生命の星・地球博物館)
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧Ⅰ類、絶滅危惧ⅠA類、絶滅危惧ⅠB類、絶滅危惧Ⅱ類、準絶滅危惧、減少種、希少種、要注意種、注目種、情報不足、情報不足A、情報不足B、不明種、絶滅のおそれのある地域個体群

注2. コジュケイ、ドバト、ベニスズメは外来種であり、種数等に計上していない。

注3. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

資料：「日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査) 動物分布調査(鳥類)報告書)」
(昭和56年、環境庁)

(両生類・爬虫類)

「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)によると、対象事業実施区域及びその周囲では、重要な両生類及び爬虫類は報告されていない。

なお、県レッドによると、神奈川県内で確認された両生類は16種、爬虫類は13種である。

神奈川県内で確認されている両生類の内、絶滅危惧Ⅰ類はトウキョウサンショウウオ、アカハライモリ、トノサマガエルの3種、絶滅危惧Ⅱ類はヒダサンショウウオ、トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエルの3種、準絶滅危惧はハコネサンショウウオの1種、希少種はナガレタゴガエルの1種、要注意種はアズマヒキガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエルの4種となっている。

また、神奈川県内で確認されている爬虫類の内、絶滅危惧Ⅰ類はニホンイシガメの1種、絶滅危惧Ⅱ類はアカウミガメの1種、準絶滅危惧はヒバカリの1種、要注意種はヒガシニホントカゲ、シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、ニホンマムシの5種となっている。

(昆虫類)

「日本の重要な昆虫類 南関東版」(昭和 55 年、環境庁)によると、神奈川県内では 10 種の指標昆虫類と 51 種の特定昆虫類が選定されている。また、「第 2 回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」(昭和 56 年、環境庁)によると、図 4-2-1-18 及び表 4-2-1-80 に示すとおり、対象事業実施区域及びその周囲からは 7 種の指標昆虫類と 31 種の特定昆虫類が確認されている。

これによると、対象事業実施区域及びその周囲には、文化財保護法に基づく天然記念物等及び種の保存法に基づく希少野生動植物種の確認はない。また、環境省レッドでは絶滅危惧 II 類にタガメ及びギフチョウの 2 種、準絶滅危惧にコオイムシ、ガムシ、ベニモンマダラ、オオムラサキ及びコシロシタバの 5 種が指定されているほか、県レッドでは、ガムシが絶滅危惧 IA 類、チョウトンボ、コオイムシ、ギフチョウが絶滅危惧 IB 類、オツネントンボ、ムカシヤンマ、ヒラタクワガタ、ヒゲコガネが絶滅危惧 II 類、オオムラサキが準絶滅危惧、その他 5 種が要注意種に指定されている。なお、かつて県内に分布していたが、現在は県内から確認できなくなった種としてタガメが指定されている。

また、対象事業実施区域に含まれる旧藤野町全域(現、相模原市緑区)では、「キマダラルリツバメとその生息地」及び「ギフチョウとその生息地」が神奈川県の天然記念物に指定されている。



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市区町村境
 - 昆虫類

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-18(1) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



凡例

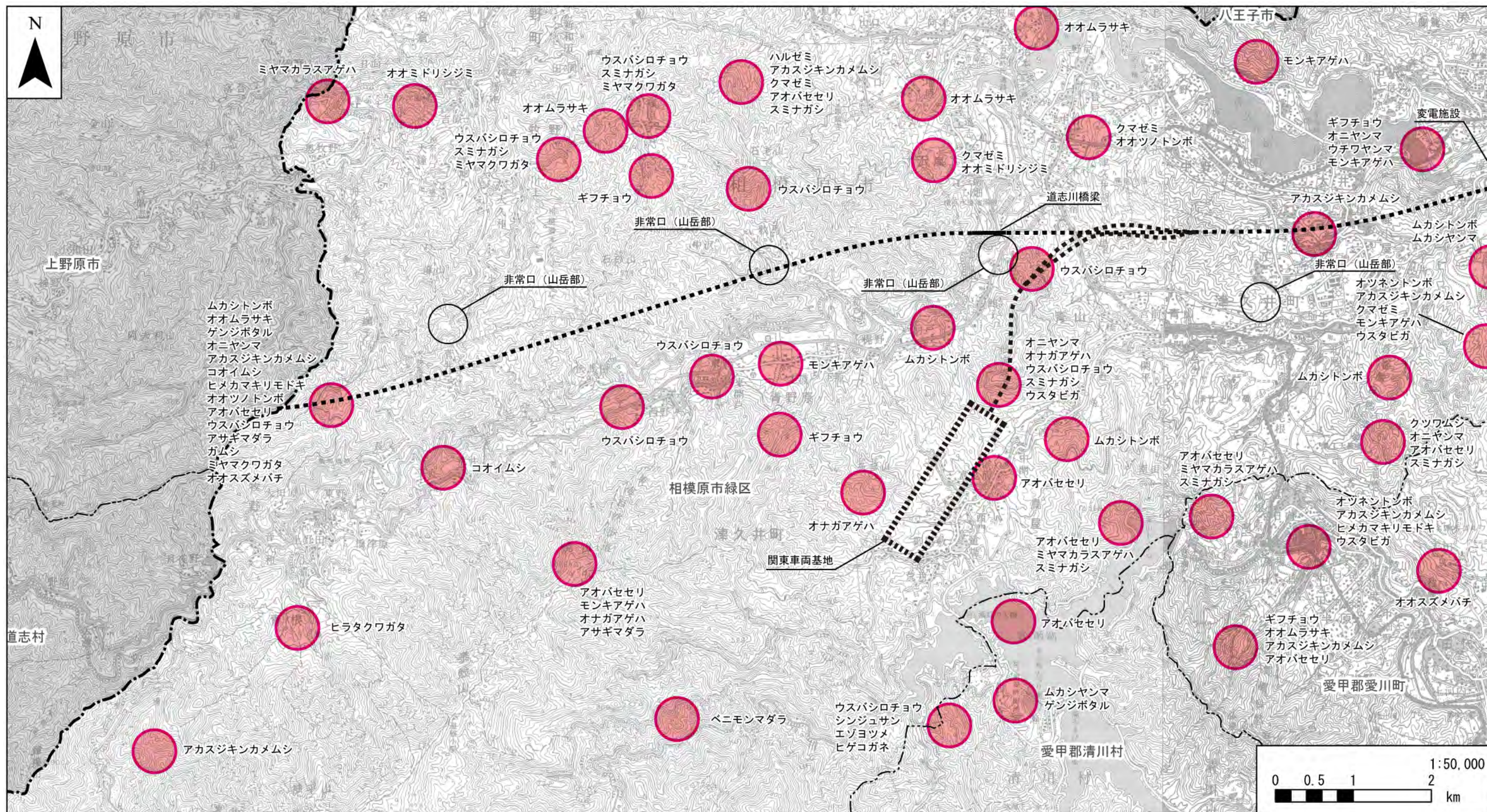
- 計画路線(トンネル部)
- 計画路線(地上部)
- 都県境
- 市区町村境



昆虫類

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-18(2) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



凡例

..... 計画路線(トンネル部)

—— 計画路線(地上部)

--- 都県境

---- 市区町村境

・ 関東車両基地は地上部で計画



資料：「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」(昭和56年、環境庁)

図4-2-1-18(3) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図

表 4-2-1-80 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された昆虫類

目名	科名	種名	選定基準				
			①	②	③	④	⑤
トンボ目	アオイトトンボ科	オツネトンボ			D・G		絶滅危惧 II 類
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ			指		
	ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ			指		絶滅危惧 II 類
	サナエトンボ科	ウチワヤンマ			D・G		
	オニヤンマ科	オニヤンマ			D・G		
	トンボ科	コシアキトンボ			D・G		
バッタ目	キリギリス科	クツワムシ			D・G		要注意種
	マツムシ科	アオマツムシ			B・G		
カメムシ目	セミ科	クマゼミ			C		
		ハルゼミ			指		要注意種
	コオイムシ科	コオイムシ			G	NT	絶滅危惧 IB 類
		タガメ			指	VU	絶滅
	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ			G		
アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ			B		
	ツノトンボ科	オオツノトンボ			G		
コウチュウ目	ガムシ科	ガムシ			D・G	NT	絶滅危惧 IA 類
	クワガタムシ科	ヒラタクワガタ			D		絶滅危惧 II 類
		ミヤマクワガタ			D・G		要注意種
	コガネムシ科	ヒゲコガネ			D		絶滅危惧 II 類
	センチコガネ科	オオセンチコガネ			D・G		
	ホタル科	ゲンジボタル			指		
ハチ目	スズメバチ科	オオスズメバチ			G		
チョウ目	マダラガ科	ベニモンマダラ			B	NT	
	セセリチョウ科	アオバセセリ			G		要注意種
	アゲハチョウ科	ギフチョウ			指	VU	絶滅危惧 IB 類
		モンキアゲハ			C		
		ミヤマカラスアゲハ			G		
		オナガアゲハ			G		
		ウスバシロチョウ			G		
	シジミチョウ科	オオミドリシジミ			G		
	マダラチョウ科	アサギマダラ			G		
	タテハチョウ科	スミナガシ			G		要注意種
		オオムラサキ			指	NT	準絶滅危惧
	ヤママユガ科	ウスタビガ			G		
		シンジュサン			G		
		エゾヨツメ			C		
	ヤガ科	コシロシタバ			D	NT	
7 目	26 科	38 種	0 種	0 種	38 種	7 種	15 種

注1. 選定基準は以下のとおりとする。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」（平成4年、法律第75号）
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）
指：指標昆虫類、（以下、特定昆虫類の選定基準）B：分布域が国内若干の地域に限定されている種
C：普通種であっても、北限・南限など分布限界になるとされる産地に分布する種
D：当該地域において絶滅の危機に瀕している種、G：環境指標として適当であると考えられる種
- ④「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）
「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 IA 類、EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：要注目種
- ⑤「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」（平成18年、神奈川県立生命の星・地球博物館）
絶滅、野生絶滅、絶滅危惧 I 類、絶滅危惧 IA 類、絶滅危惧 IB 類、絶滅危惧 II 類、準絶滅危惧、減少種、希少種、要注意種、注目種、情報不足、情報不足A、情報不足B、不明種、絶滅のおそれのある地域個体群

注2. 表中の空欄は、該当するものがないことを示す。

資料：「日本の重要な昆虫類 南関東版」（昭和55年、環境庁）

「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

(魚類)

「第2回自然環境保全基礎調査 神奈川県動植物分布図」(昭和56年3月、環境庁)によると、対象事業実施区域及びその周囲から重要な魚類は報告されていない。

なお、県レッドによると、神奈川県内で確認された汽水・淡水魚類は34科121種である。

神奈川県内で確認されている汽水・淡水魚類の内、絶滅はヤリタナゴ、タナゴの2種、野生絶滅はミヤコタナゴ、ゼニタナゴの2種、絶滅危惧IA類はヤマメ、メダカ等の7種、絶滅危惧IB類はキンブナ、ホトケドジョウ等の6種、絶滅危惧II類はマルタ、ニゴイ、カジカの3種、準絶滅危惧はシマドジョウ、オオヨシノボリ等の10種、注目種はナマズ、イッセンヨウジ、テングヨウジ、ウロハゼの4種、情報不足はウツセミカジカ、ジュズカケハゼ等の14種となっている。

2) 植物

ア. 重要な種及び群落の状況

「第3回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書（神奈川県）」（昭和62年、環境庁）によると、神奈川県内の植生は、海拔700～800m付近までは、広域的な気候の変化に対応したヤブツバキクラス域、800～1,673mの蛭ヶ岳まではブナクラス域に所属している。神奈川県では、1,800～2,000mを越す山地がないことや気候的に温暖であることにも対応し、ヤブツバキクラス域とブナクラス域の植生にまとめられている。また、県レッドによると、神奈川県内で確認された維管束植物は帰化種を除き2,316種、コケ植物は595種である。特に神奈川県西部の丹沢の標高1,000m以上の地域、箱根（仙石原、神山、金時山及び芦ノ湖西岸など）から湯河原にかけての地域では多くの希少種の生育が確認されている。

県レッドによると、神奈川県内で自生している維管束植物の内、絶滅種134種（5.8%）、絶滅危惧IA類223種（9.6%）、絶滅危惧IB類146種（6.3%）、絶滅危惧II類87種（3.8%）、準絶滅危惧14種、健在種33種、情報不足3種、消息不明64種となっている。また、コケ植物は、絶滅危惧I類として蘚類31種、苔類9種、ツノゴケ類1種、絶滅危惧II類として蘚類9種、苔類6種、準絶滅危惧として蘚類3種、苔類2種、情報不足として蘚類12種、苔類11種、ツノゴケ類1種、注目種として蘚類6種となっている。

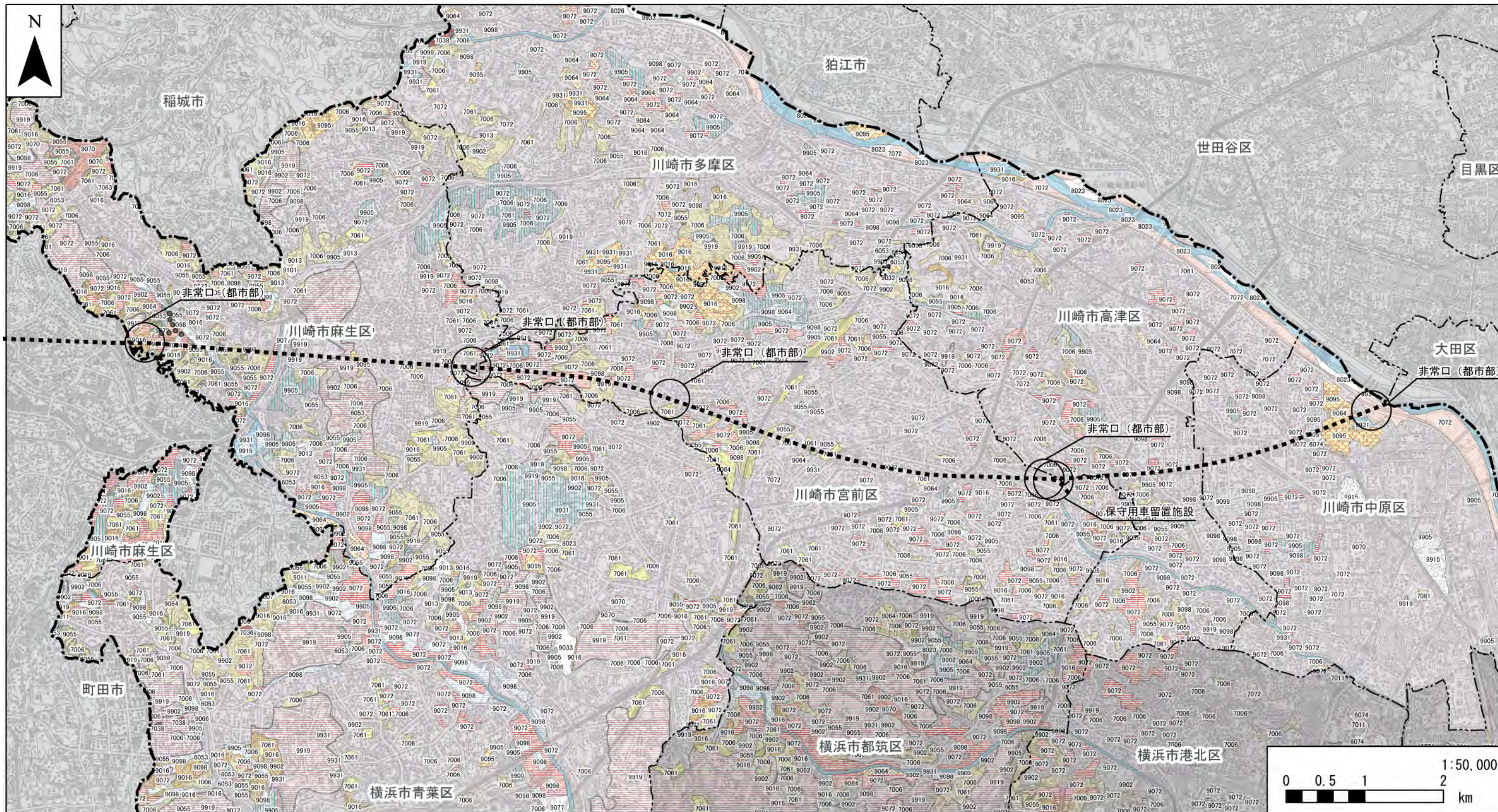
対象事業実施区域及びその周囲の現存植生図を図4-2-1-19に、重要な植物等の分布状況を図4-2-1-20に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の植生は、相模川を境に東西で大きく異なる。対象事業実施区域東側の川崎市、横浜市及び相模原市の相模川左岸の植生は、「市街地」の中に「クヌギ・コナラ群集」や「畑地雑草群落」が散在する。一方で、対象事業実施区域西側の相模川右岸から神奈川県境までの植生は、「スギ・ヒノキ・サワラ植林」と「コナラ群落」を主体とする植生となっている。

対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物の指定状況は、表4-2-1-81に示すとおりであり、国登録1件、県指定3件、市・町指定7件の天然記念物が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林の存在状況は、表4-2-1-82に示すとおりであり、119の巨樹・巨木林が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落の存在状況は、表4-2-1-83に示すとおりであり、10の特定植物群落が存在する。



凡例

- 計画路線(トンネル部)
- 計画路線(地上部)
- 工事用道路
- 都県境
- 市区町村境

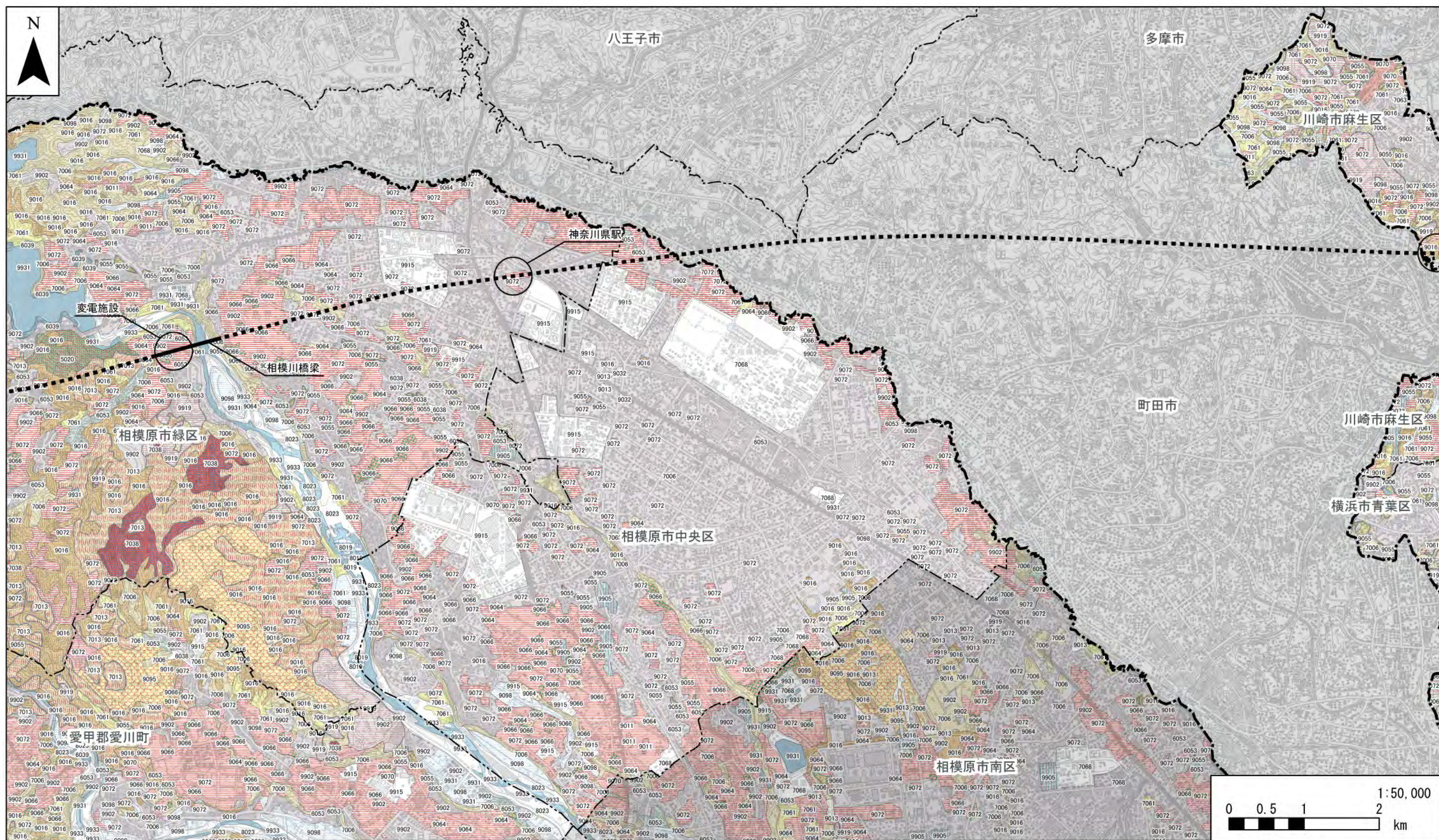
- 4015 ヤマボウシ・ブナ群集
- 4024 イヌブナ群集
- 4067 ミヤマクマワラビ・シオジ群集
- 4110 フジザザミ・ヤマホタルブクロ群集
- 4123 ケヤキ群集
- 4132 ミズナラ・リョウブ群集
- 5009 クリ・ミズナラ群集

- 5020 アカシデ・イヌシデ群集
- 5055 カワラマツバ・ススキ群集
- 5066 伐跡群集
- 6020 サカキ・ウラジロガシ群集
- 6039 ケヤキ・イロハモミジ群集
- 6053 シラカシ群集
- 7002 コナラ群集
- 7006 クヌギ・コナラ群集
- 7013 コナラ・クリ群集
- 7036 伐跡群集
- 7038 ベニバナ・ボロギク・グランドボロギク群集
- 7061 アズマネザサ・ススキ群集
- 7072 路傍雑草群集
- 8019 ツルシヨ群集
- 9009 シラビソ植林
- 9011 アカマツ植林

- 9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 9035 落葉広葉樹植林
- 9055 竹林
- 9064 落葉果樹園
- 9066 桑園
- 9070 苗圃
- 9072 畑地雑草群集
- 9082 牧草地
- 9083 人工草地
- 9095 ゴルフ場
- 9098 水田雑草群集
- 9902 市街地
- 9905 緑の多い住宅地
- 9919 造成地
- 9925 造成地、裸地
- 9931 開放水域

資料：「生物多様性センター 自然環境情報GIS提供システム」
(平成25年6月現在、環境省自然環境局ホームページ)

図4-2-1-19(1) 現存植生図



凡例

..... 計画路線(トンネル部)

—— 計画路線(地上部)

--- 都県境

---- 市区町村境

4015 ヤマボウシ・ブナ群集

4024 イヌブナ群集

4067 ミヤマクマワラビ・シオジ群集

4110 フジザサ・ミヤマホタルブクロ群集

4123 ケヤキ群落

4132 ミズナラ・リョウブ群集

5009 クリ・ミズナラ群落

5020 アカシ・デイユシデ群落

5055 カワラマツ・バススキ群落

5066 伐跡群落

6020 サカキ・ウラジロガシ群集

6039 ケヤキ・イロハモミジ群集

6053 シラカシ群集

7002 コナラ群落

7006 クスギ・コナラ群集

7013 コナラ・クリ群集

7036 伐跡群落

7038 ベニバナ・ボロギク・ダンド・ボロギク群落

7061 アズマネザサ・サスキ群集

7072 路傍雑草群落

8019 ツルヨシ群集

9009 シラビソ植林

9011 アカマツ植林

9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林

9035 落葉広葉樹植林

9055 竹林

9064 落葉果樹園

9066 桑園

9070 苗圃

9072 畑地雑草群落

9082 牧草地

9083 人工草地

9095 ゴルフ場

9098 水田雑草群落

9902 市街地

9905 緑の多い住宅地

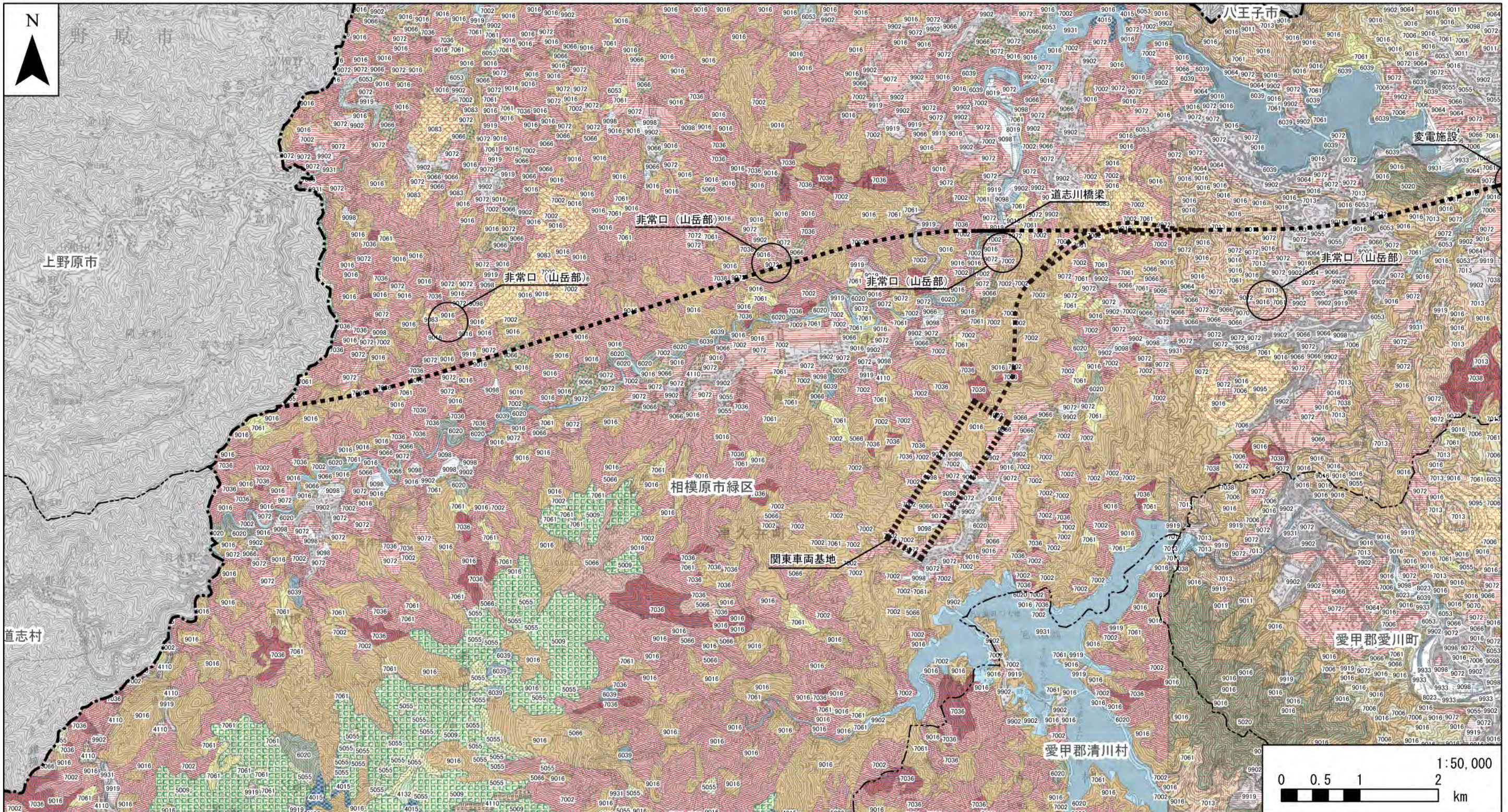
9919 造成地

9925 造成地、裸地

9931 開放水域

資料：「生物多様性センター 自然環境情報GIS提供システム」
(平成25年6月現在、環境省自然環境局ホームページ)

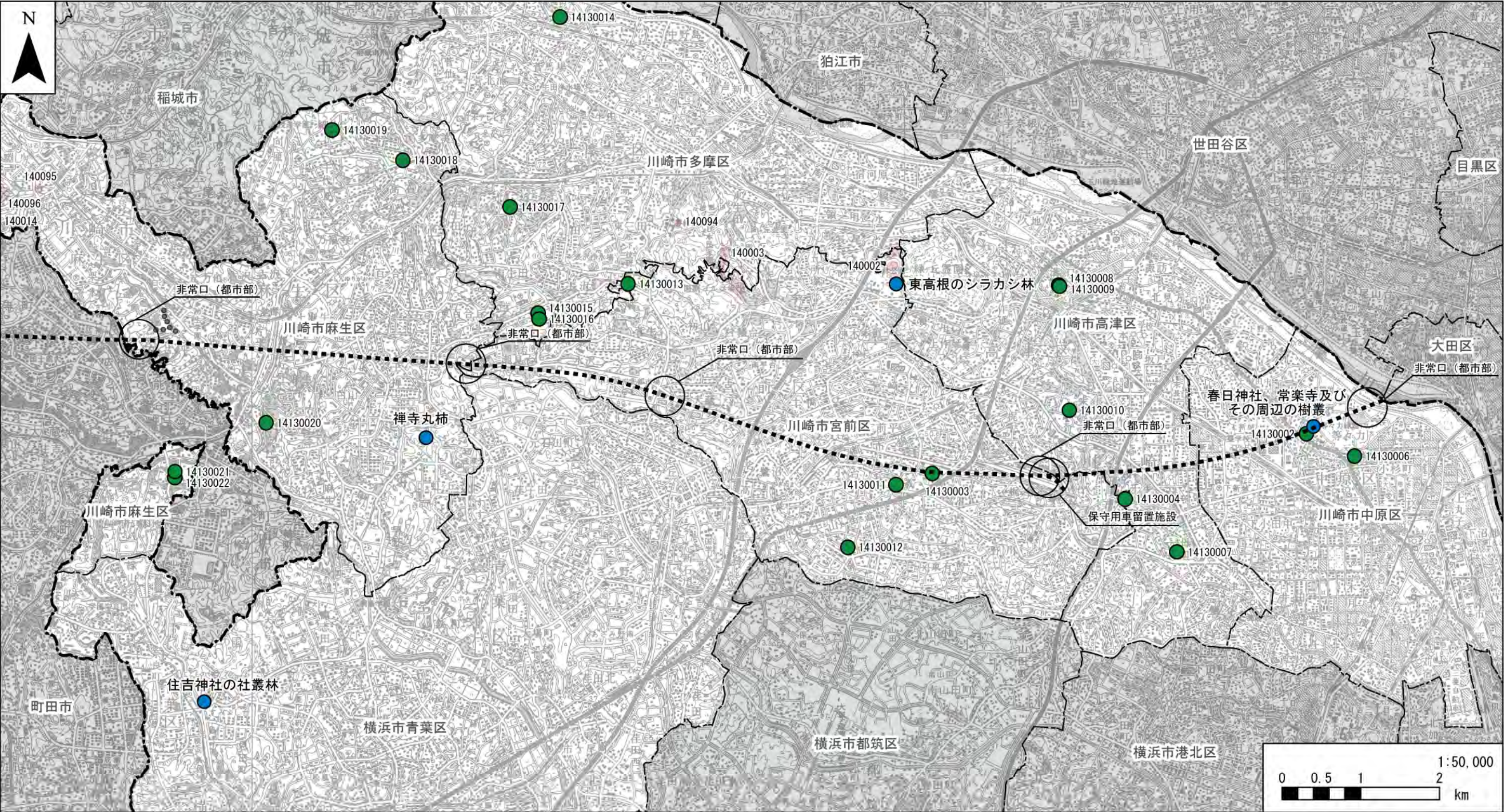
図4-2-1-19(2) 現存植生図



凡例			
■■■■ 計画路線(トンネル部)			
—— 計画路線(地上部)			
---- 都県境			
----- 市区町村境			
・ 関東車両基地は地上部で計画			
4015 ヤマボウシ・ブナ群集	5020 アカシデ・イヌシデ群落	7013 コナラ・クリ群集	9016 スギ・ヒノキ・サワラ植林
4024 イヌブナ群集	5055 カワラマツバ・ススキ群落	7036 伐跡群落	9035 落葉広葉樹植林
4067 ミヤマクマワラビ・シオジ群集	5066 伐跡群落	7038 ベニバナボロギク・ダンドボロギク群落	9055 竹林
4110 フジザサ・ヤマホタルブクロ群集	6020 サカキ・ウラジロガシ群集	7061 アズマネザサ・ススキ群集	9064 落葉果樹園
4123 ケヤキ群落	6039 ケヤキ・イロハモミジ群集	7072 路傍雑草群落	9066 桑園
4132 ミズナラ・リョウブ群集	6053 シラカン群集	8019 ツルヨシ群集	9070 苗圃
5009 クリ・ミズナラ群落	7002 コナラ群落	9009 シラビソ植林	9072 畑地雑草群落
	7006 クヌギ・コナラ群集	9011 アカマツ植林	9082 牧草地
			9083 人工草地
			9095 ゴルフ場
			9098 水田雑草群落
			9902 市街地
			9905 緑の多い住宅地
			9919 造成地
			9925 造成地・裸地
			9931 開放水域

資料：「生物多様性センター 自然環境情報GIS提供システム」
(平成25年6月現在、環境省自然環境局ホームページ)

図4-2-1-19(3) 現存植生図

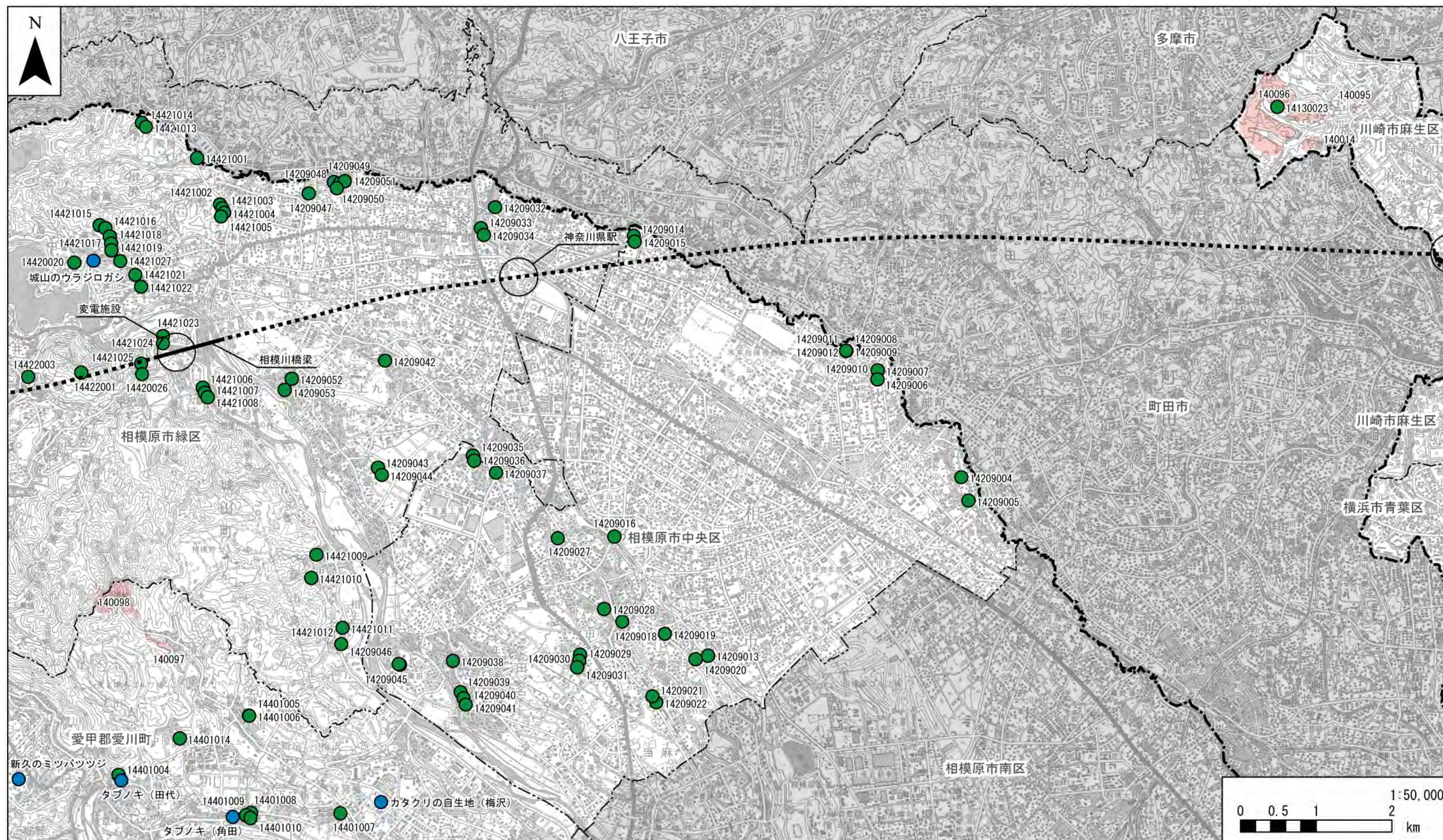


凡例

..... 計画路線(トンネル部)	● 天然記念物(植物)
—— 計画路線(地上部)	● 巨樹・巨木 分布地点
..... 工事用道路	■ 特定植物群落 生育地域
--- 都県境	
---- 市区町村境	

資料：「神奈川県の文化財」(平成25年6月現在、神奈川県教育委員会教育局文化遺産課ホームページ)
「国・神奈川県及び横浜市 指定・登録文化財目録」(平成25年6月現在、横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課ホームページ)
「さがみはらの文化財一覧」(平成25年6月現在、相模原市教育委員会教育局生涯学習部文化財保護ホームページ)
「愛川町：暮らしの便利帳：生涯学習・文化・スポーツ：文化：文化財保護」
(平成25年6月現在、愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課スポーツ・文化振興班)
「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 南関東版(埼玉県・千葉県・神奈川県・東京都)」(昭和55年、環境庁)
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 南関東版(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)」(昭和63年、環境庁)
「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版(II)(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)」(平成3年、環境庁)
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

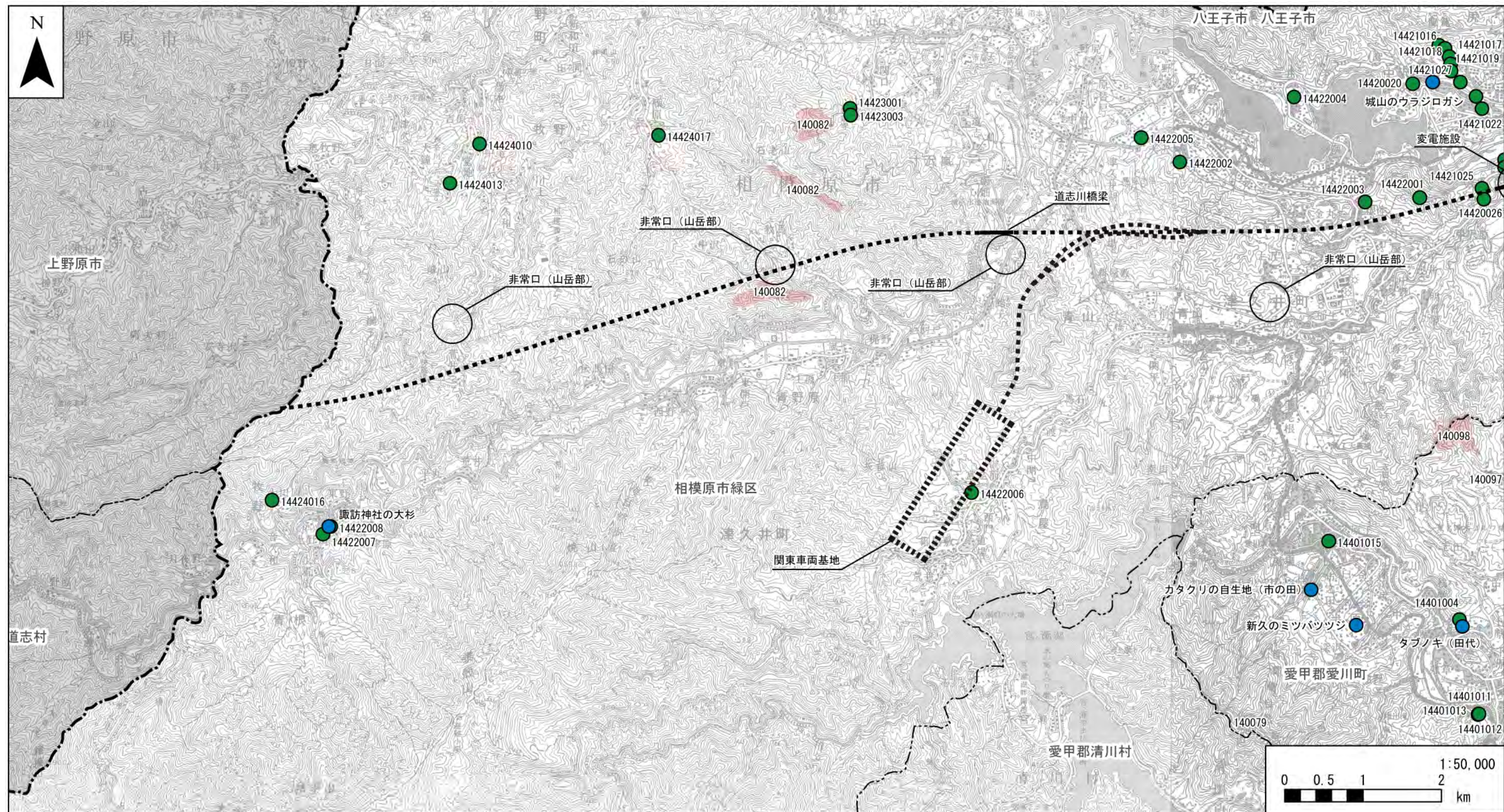
図4-2-1-20(1) 重要な植物等の分布図



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 都県境
 - 市区町村境
 - 天然記念物(植物)
 - 巨樹・巨木 分布地点
 - 特定植物群落 生育地域

資料：「神奈川県の文化財」（平成25年6月現在、神奈川県教育委員会教育局文化遺産課ホームページ）
「国・神奈川県及び横浜市 指定・登録文化財目録」（平成25年6月現在、横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課ホームページ）
「さがみはらの文化財一覧」（平成25年6月現在、相模原市教育委員会教育局生涯学習部文化財保護ホームページ）
「愛川町：暮らしの便利帳：生涯学習・文化・スポーツ：文化：文化財保護」（平成25年6月現在、愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課スポーツ・文化振興班）
「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 南関東版（埼玉県・千葉県・神奈川県・東京都）」（昭和55年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 南関東版（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）」（昭和63年、環境庁）
「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版（II）（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）」（平成3年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）

図4-2-1-20(2) 重要な植物等の分布図



凡例

..... 計画路線(トンネル部)

—— 計画路線(地上部)

--- 都県境

---- 市区町村境

・ 関東車両基地は地上部で計画

● 天然記念物 (植物)

● 巨樹・巨木 分布地点

■ 特定植物群落 生育地域

資料：「神奈川県の文化財」(平成25年6月現在、神奈川県教育委員会教育局文化遺産課ホームページ)

「国・神奈川県及び横浜市 指定・登録文化財目録」(平成25年6月現在、横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課ホームページ)

「さがみはらの文化財一覧」(平成25年6月現在、相模原市教育委員会教育局生涯学習部文化財保護ホームページ)

「愛川町：暮らしの便利帳：生涯学習・文化・スポーツ：文化：文化財保護」

(平成25年6月現在、愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課スポーツ・文化振興班)

「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 南関東版(埼玉県・千葉県・神奈川県・東京都)」(昭和55年、環境庁)

「第3回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落II 南関東版(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)」(昭和63年、環境庁)

「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版(II)(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)」(平成3年、環境庁)

「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年、環境庁)

図4-2-1-20(3) 重要な植物等の分布図

表 4-2-1-81 対象事業実施区域及びその周囲の天然記念物（植物）

種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
国登録	禅寺丸柿	川崎市麻生区王禅寺他	平成 19 年 7 月 26 日
県指定	春日神社、常楽寺及びその周辺の樹叢	川崎市中原区宮内字白田耕地 614 他	平成 4 年 2 月 14 日
県指定	東高根のシラカシ林	川崎市宮前区神木本町 2-10-1	昭和 46 年 12 月 21 日
県指定	諏訪神社の大杉	相模原市緑区青根 1304	昭和 28 年 12 月 22 日
市指定	住吉神社の社叢林	横浜市青葉区	平成 9 年 11 月 4 日
市指定	城山のウラジロガシ	相模原市緑区城山 4-318-4	平成 21 年 7 月 27 日
町指定	タブノキ（角田）	愛川町角田 2371	昭和 47 年 9 月 1 日
町指定	タブノキ（田代）	愛川町田代 1395	昭和 47 年 9 月 1 日
町指定	新久のミツバツツジ	愛川町半原 1631	昭和 54 年 7 月 1 日
町指定	カタクリの自生地（市の田）	愛川町半原 2796 イ他	昭和 54 年 7 月 1 日
町指定	カタクリの自生地（梅沢）	愛川町角田梅沢	昭和 56 年 9 月 1 日

資料：「神奈川県文化財」

（平成 25 年 6 月現在、神奈川県教育委員会教育局文化遺産課ホームページ）

「国・神奈川県および横浜市指定・登録文化財目録」

（平成 25 年 6 月現在、横浜市教育委員会事務局総務部生涯学習文化財課ホームページ）

「さがみはらの文化財一覧」

（平成 25 年 6 月現在、相模原市教育委員会教育局生涯学習部文化財保護課ホームページ）

「愛川町：暮らしの便利帳：生涯学習・文化・スポーツ：文化：文化財保護」

（平成 25 年 6 月現在、愛川町教育委員会愛川町スポーツ・文化振興課ホームページ）

表 4-2-1-82(1) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
14130002	川崎市（中原区）	不明	イチョウ	330	20	
14130003	川崎市（宮前区）	300 以上	イチョウ	597	24	
14130004	川崎市（高津区）	300 以上	イチョウ	800	28	乳イチョウ
14130006	川崎市（中原区）	伝承 130	ケヤキ	393	24	
14130007	川崎市（高津区）子母口	100～199	ケヤキ	308	16	
14130008	川崎市（高津区）溝口	100～199	クスノキ	365	18.5	
14130009	川崎市（高津区）溝口	100～199	ケヤキ	322	12	
14130010	川崎市（高津区）未長	—	スダジイ	390	14	
14130011	川崎市（宮前区）馬絹	200～299	シラカシ	330	20.5	
14130012	川崎市（宮前区）有馬	300 以上	ケヤキ	305	20.3	
14130013	川崎市（宮前区）管生	300 以上	イトヒバ	320	20	
14130014	川崎市（多摩区）菅稻田堤	300 以上	ケヤキ	310	15.5	
14130015	川崎市（多摩区）長沢	100～199	シラカシ	358	20	
14130016	川崎市（多摩区）長沢	100～199	シラカシ	326	20	
14130017	川崎市（多摩区）栗谷	200～299	ケヤキ	334	25.5	
14130018	川崎市（麻生区）細山	100～199	クスノキ	322	16.5	
14130019	川崎市（麻生区）	伝承 700	タブノキ	671	10.5	
14130020	川崎市（麻生区）上麻生	100～199	イチョウ	341	27.5	
14130021	川崎市（麻生区）岡上	100～199	イチョウ	355	26	
14130022	川崎市（麻生区）岡上	100～199	ケヤキ	326	31	
14130023	川崎市（麻生区）黒川	300 以上	ヤマザクラ	324	14.5	
14209004	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	300	16	
14209005	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	330	16	
14209006	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	355	25	
14209007	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	446	25	
14209008	相模原市（中央区）	200～299	イチョウ	382	20.4	
14209009	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	—	8.1	

注1. 表中の関係地区名については、出典図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を（ ）内に記載した。

表 4-2-1-82(2) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
14209010	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	372	16.2	
14209011	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	320	12.6	
14209012	相模原市（中央区）	99 以下	エノキ	332	11.6	
14209013	相模原市（中央区） 稲荷神社	200～299	スダジイ	360	10	
14209014	相模原市（緑区）	100～199	ケヤキ	314	23	
14209015	相模原市（緑区）	100～199	イチョウ	304	24	
14209016	相模原市（中央区）	100～199	エノキ	357	20	逆さ榎
14209018	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	324	20	
14209019	相模原市（中央区）	200～299	イチョウ	356	28	
14209020	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	300	24	
14209021	相模原市（中央区）	300 以上	ケヤキ	660	38	ケヤキ大尽
14209022	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	300	19	
14209027	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	300	20	
14209028	相模原市（中央区）	100～199	シダレザクラ	330	13	
14209029	相模原市（中央区）	100～199	クスノキ	300	22	
14209030	相模原市（中央区）	100～199	クスノキ	300	18	
14209031	相模原市（中央区）	99 以下	ケヤキ	324	20	
14209032	相模原市（緑区）	300 以上	イヌマキ	338	18	
14209033	相模原市（緑区）	100～199	ケヤキ	300	30	
14209034	相模原市（緑区）	100～199	アカガシ	300	12	
14209035	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	420	32	
14209036	相模原市（中央区）	100～199	クスノキ	300	23	
14209037	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	470	25	
14209038	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	300	12	
14209039	相模原市（中央区）	300 以上	ケヤキ	650	23	
14209040	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	310	12	
14209041	相模原市（中央区）	100～199	ケヤキ	330	13	
14209042	相模原市（緑区）	300 以上	ケヤキ	570	16	
14209043	相模原市（緑区）	300 以上	タブノキ	560	7	
14209044	相模原市（緑区）	100～199	クスノキ	420	20	
14209045	相模原市（中央区）	100～199	イチョウ	300	22	
14209046	相模原市（中央区）	200～299	ケヤキ	458	28	
14209047	相模原市（緑区）	200～299	イチョウ	360	20	
14209048	相模原市（緑区）	100～199	ケヤキ	300	30	
14209049	相模原市（緑区） 相模八幡宮	300 以上	ケヤキ	797	42	
14209050	相模原市（緑区）	300 以上	ケヤキ	—	33	
14209051	相模原市（緑区）	200～299	ケヤキ	390	30	
14209052	相模原市（緑区）	100～199	クスノキ	350	20	
14209053	相模原市（緑区）	300 以上	ケヤキ	510	25	
14401004	愛川町愛川八幡神社	300 以上	タブノキ	380	30	
14401005	愛川町棟岩院	200～299	タブノキ	304	20	
14401006	愛川町棟岩院	200～299	タブノキ	395	20	
14401007	愛川町地神社	200～299	イチョウ	710	20	
14401008	愛川町角田八幡神社	300 以上	タブノキ	540	25	
14401009	愛川町角田八幡神社	300 以上	イチョウ	400	25	
14401010	愛川町角田八幡神社	300 以上	スギ	320	25	
14401011	愛川町勝楽寺	300 以上	イチョウ	460	35	
14401012	愛川町勝楽寺	300 以上	イチョウ	350	30	
14401013	愛川町勝楽寺	300 以上	サワラ	400	30	
14401014	愛川町三増	200～299	ムクロジ	310	20	
14401015	愛川町半原宮本	不明	ケヤキ	350	30	
14421001	城山町（相模原市緑区） 風間	100～199	アラカシ	379	18	

注1. 表中の関係地区名については、出典図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を（ ）内に記載した。

表 4-2-1-82(3) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
14421002	城山町（相模原市緑区）小松	300 以上	スダジイ	526	10	
14421003	城山町（相模原市緑区）小松	300 以上	スダジイ	520	20	
14421004	城山町（相模原市緑区）小松	300 以上	スダジイ	490	20	
14421005	城山町（相模原市緑区）小松	300 以上	スギ	680	25	
14421006	城山町（相模原市緑区）霜田	300 以上	スダジイ	620	25	
14421007	城山町（相模原市緑区）霜田	300 以上	スダジイ	430	25	
14421008	城山町（相模原市緑区）霜田	300 以上	スダジイ	385	25	
14421009	城山町（相模原市緑区）藤木	不明	アラカシ	316	25	
14421010	城山町（相模原市緑区）中平	100～199	イチョウ	320	25	
14421011	城山町（相模原市緑区）相生	99 以下	クスノキ	330	14	
14421012	城山町（相模原市緑区）下河原	100～199	イチョウ	305	23	
14421013	城山町（相模原市緑区）滝尻	300 以上	スダジイ	450	25	
14421014	城山町（相模原市緑区）滝尻	300 以上	スダジイ	390	25	
14421015	城山町（相模原市緑区）義	300 以上	スダジイ	570	15	
14421016	城山町（相模原市緑区）義	300 以上	スギ	367	30	
14421017	城山町（相模原市緑区）義	300 以上	スダジイ	320	25	
14421018	城山町（相模原市緑区）義	300 以上	スギ	460	30	
14421019	城山町（相模原市緑区）義	300 以上	スギ	370	30	
14421020	城山町（相模原市緑区）信	不明	クスノキ	320	25	
14421021	城山町（相模原市緑区）都井沢	100～199	イチョウ	313	29	
14421022	城山町（相模原市緑区）都井沢	99 以下	クスノキ	620	20	
14421023	城山町（相模原市緑区）原	300 以上	カゴノキ	320	20	小倉の大カゴ
14421024	城山町（相模原市緑区）原	300 以上	タブノキ	550	20	
14421025	城山町（相模原市緑区）馬込	100～199	クスノキ	356	30	
14421026	城山町（相模原市緑区）内田昭和	300 以上	ケヤキ	740	18	内田家の大ケヤキ
14421027	城山町（相模原市緑区）飯縄大権現	300 以上	スダジイ	570	16	
14422001	津久井町（相模原市緑区）城山の大スギ	300 以上	スギ	530	20	城山の大スギ
14422002	津久井町（相模原市緑区）観音禅寺	300 以上	タブノキ	300	25	
14422003	津久井町（相模原市緑区）根小屋諏訪神社	300 以上	スギ	630	45	
14422004	津久井町（相模原市緑区）三井八幡宮	不明	スダジイ	310	10	
14422005	津久井町（相模原市緑区）祥泉寺	300 以上	イチョウ	320	15	地藏抱のイチョウ
14422006	津久井町（相模原市緑区）鳥屋諏訪神社	100～199	スギ	520	30	
14422007	津久井町（相模原市緑区）青根小	200～299	クスノキ	400	30	小学校のクスノ木
14422008	津久井町（相模原市緑区）青根諏訪神社	伝承 800	スギ	900	43	大スギ
14423001	津久井町（相模原市緑区）顕鏡寺	300 以上	イチョウ	540	42	
14423003	津久井町（相模原市緑区）蛇木杉	300 以上	スギ	550	30	根が雄龍 21m 雌龍 21m

注1. 表中の関係地区名については、出典図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合がある。なお、現在の地名を（ ）内に記載した。

表 4-2-1-82(4) 対象事業実施区域及びその周囲の巨樹・巨木林

番号	所在地	推定樹齢 (年)	樹種名	幹周 (cm)	樹高 (m)	通称・呼称
14424010	藤野町（相模原市緑区）牧野	300 以上	スギ	610	40	
14424013	藤野町（相模原市緑区）牧野	300 以上	ケヤキ	630	15	
14424016	藤野町（相模原市緑区）牧野	200～299	クスノキ	530	45	
14424017	藤野町（相模原市緑区）松に桜の寄木	200～299	クロマツ	350	25	松に桜の寄木

資料：「生物多様性センター 自然環境情報 GIS 提供システム」
 （平成 25 年 6 月現在、環境省自然環境局ホームページ）
 「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版（II）
 （埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）」（平成 3 年、環境庁）

表 4-2-1-83 対象事業実施区域及びその周囲の特定植物群落

番号	名称	所在市町村	選定 回次	選定 基準	保護の現状及び 保護制度の種類・名称	備考
140002	東高根のシラカシ林	川崎市高津区	2	E	県指定天然記念物 県立東高根森林公園	
140003	生田の雑木林	川崎市多摩区 及び高津区	2	D		
140014	黒川のケヤキ林	川崎市 （麻生区）	2	A		第 3 回調査（追跡調査）で群落の消滅が確認されている。
140079	仏果山の自然林	愛甲郡愛川町	2	E	仏果山県自然環境保全地域	
140082	牧馬の夏緑広葉樹林	津久井郡（相模原市緑区）相模湖町・藤野町	2	E	谷山県自然環境保全地域 牧馬県自然環境保全地域	
140094	生田のハンノキ林	川崎市 （多摩区）	3	A・G		
140095	黒川のシラカシ林	川崎市 （麻生区）	3	A		
140096	黒川のコナラ雑木林	川崎市 （麻生区）	3	E	三増峠自然環境保全地域	
140097	三増のケヤキ林	愛甲郡 （愛川町）	3	A・G・H	三増峠自然環境保全地域	
140098	三増峠のコナラ林	愛甲郡 （愛川町）	3	E		

注1. 表中の所在市町村は選定時のものを記載した。また、関係地区名については、出典図書をそのまま記載するため、市町村合併前の旧地名等が掲載されている場合及び区名等が掲載されていない場合がある。なお、現在の地名及び区名等を（ ）内に記載した。

注2. 選定基準は以下のとおりである。

- A：原生林もしくはそれに近い自然林
- B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群
- C：比較的普通に見られるものであっても、南限・北限・隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群
- D：砂丘・断崖地・塩沼地・湖沼・河川・湿地・高山・石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの
- G：乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
- H：その他、学術上重要な植物群落または個体群

資料：「生物多様性センター 自然環境情報 GIS 提供システム」
 （平成 25 年 6 月現在、環境省自然環境局ホームページ）
 「第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落
 南関東版（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）」（昭和 55 年、環境庁）
 「第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 II
 南関東版（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）」（昭和 63 年、環境庁）
 「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成 12 年、環境庁）

3) 藻場・干潟・湿地の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、藻場・干潟は存在しない。

また、ラムサール条約及び環境省の日本の重要湿地 500 で指定されている湿地は存在しない。

4) 生態系

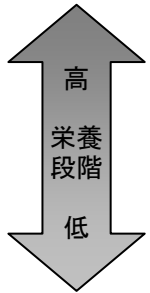
ア. 生態系の状況

「生物多様性保全のための国土区分（試案）」（平成9年、環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲は本州中部太平洋側区域に属する。本州中部太平洋側区域は暖温帯に属し、年間降水量は中位で、冬季の積雪は少ない区域となっている。この区域の生物学的特性を示す植生はスダジイ、タブノキ等の照葉樹林である。また、この区域は動物相の固有性が高く、ニホンザル等の生息により特徴づけられる。

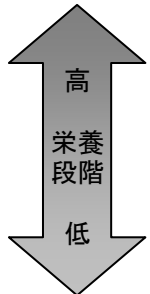
対象事業実施区域及びその周囲の生態系は、地形・地質、植生等から総合的に判断すると、①川崎市、横浜市及び相模原市の相模川左岸側の市街地を中心とする地域、②相模川周辺の地域、③相模川右岸から西側の山地を中心とする地域の3地域に区分することができる。なお、「沿線地域の地形・地質」「動物」「植物」の概況に生態系の一般的な知見を加味して作成した各地域の生態系の模式図を、図 4-2-1-21 に示す。

- ①川崎市、横浜市及び相模原市の相模川左岸側の市街地を中心とする地域は、平坦な地形に市街地が広範囲に分布し、自然環境は比較的少なく、都市の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生は「市街地」であり、その中に小規模な「クヌギ・コナラ群落」や「畑地雑草群落」が散在する。従って、この地域に生育する植物種の種数は少なく、人為的環境に適応した種、植栽種、外来種が占める割合が多くなっている。これらを基盤環境として生息する特徴的で一般的な動物種としては、ネズミ類、モグラ類等の小型哺乳類、スズメ、ムクドリ等の鳥類、アブラゼミ、モンシロチョウ等の昆虫類が考えられる。また、これらを餌とする生態系の上位性の種として、タヌキ等の中型哺乳類、ハシブトガラス等の鳥類、ツミ等の小型猛禽類の生息が考えられる。
- ②相模川周辺の地域は、相模川の中流部を主体とした河川の生態系が成立し、相模川周辺は不安定な河川植生が成立する。従って、この地域に生育する植物種は、攪乱に依存するツルヨシ、カワラヨモギ等の草本植物が多いと考えられる。これらを基盤環境として生息する特徴的で一般的な動物種としては、キセキレイ、オオヨシキリ等の鳥類、カゲロウ類、トビケラ類等の水生昆虫、アユ、オイカワ等の魚類が考えられる。また、これらを餌とする生態系の上位性の種として、河川周辺での生息情報などを加味すると、イタチ等の哺乳類、カワウ、サギ類等の鳥類の生息が考えられる。
- ③相模川右岸から西側の山地を中心とする地域は、山地の森林及び一部溪流によって構成される山地の生態系が成立している。この地域で成立する主な植生は「スギ・ヒノキ・サワラ植林」と「コナラ群落」であり、ほとんどが樹林環境となっている。従って、この地域に生育する植物種は、スギ、ヒノキ、サワラ、コナラ等の木本植物が多く、その林床にササ類等が生育する。これらを基盤環境として生息する特徴的な動物種としては、アナグマ、ニホンジカ、イノシシ等の哺乳類、オオルリ、カッコウ等の鳥類、カブトムシ、オオムラサキ等の昆虫類が考えられる。また、これらを餌とする生態系の上位性の種として、キツネ、ツキノワグマ等の哺乳類、オオタカ、クマタカ等の猛禽類の生息が考えられる。なお、溪流においては、ヤマメ、カジカ、サワガニ等の水生生物が生息し、その捕食者として、ヤマセミ等の生息が考えられる。

① 川崎市、横浜市及び相模原市の相模川左岸側の市街地を中心とする地域

	タヌキ、ハシブトガラス、ツミ等		
	ネズミ類、モグラ類、スズメ、ムクドリ、アブラゼミ、モンシロチョウ等		
基盤環境	市街地	クヌギ・コナラ群落	畑地雑草群落
生態系区分	都市の生態系		

② 相模川周辺の地域

	イタチ、カワウ、サギ类等	
	キセキレイ、オオヨシキリ、カゲロウ類、トビケラ類、アユ、オイカワ等	
基盤環境	開放水域(河川)	河川植生
生態系区分	河川の生態系	

③ 相模川右岸から西側の山地を中心とする地域

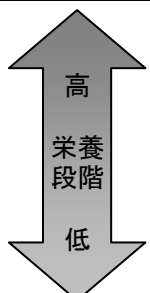
		キツネ、ツキノワグマ、オオタカ、クマタカ等
	ヤマセミ等	アナグマ、ニホンジカ、イノシシ、オオルリ、カッコウ、カブトムシ、オオムラサキ等
	ヤマメ、カジカ、サワガニ等	
基盤環境	開放水域(溪流)	スギ・ヒノキ・サワラ植林、コナラ群落等
生態系区分	山地の生態系	

図 4-2-1-21 対象事業実施区域及びその周囲の生態系の模式図